

意見発表

福井県大野市長

石山志保

全国大会実行委員会
副委員長



大野市は福井県東部に位置し、県内で最も面積が大野市へお越しいただきたい。市街地を形成する大野と存じます。

定を受け、ハンモックに包まれての星空鑑賞やオートキャンプ場を利用して、日本一美しい星空を堪能いただけます。本日お集まりの皆様におかれましては、是非、大野市へお越しいただきたい。市街地を形成する大野と存じます。

この中部縦貫自動車道に並行して国道158号が自動車道につきましては、多くが暫定2車線区間であり、大雪による自然災害や交通事故、故障車、点検や維持工事などにより通行止めが多く発生しており、早めの4車線化が必要です。現在4車線化は順次事業化が進められていますが、一部の区間で工事中であり、一部区間で通行が不可能となり、大野市と岐阜県との通行が困難な状況です。この通行止めにより、物流・人流が途絶え、中部縦貫自動車道の駅「越前おおの」は、来場者が大きく減少し、売上が4割減したと報告されています。また、国道27号が、名神高速道路の代替路として活用され、大野市は特別

常には大きな打撃を受けました。このことから、舞鶴若狭自動車道の4車線化は南海トラフ巨大地震発生時には南海トラフ巨大地震発生時には、救急物資輸送などに代わって道路として十分に機能を発揮します。早期4車線化を是非ともお願いいたします。

以上、開催地福井県として中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道の例をあげましたが、このような高規格道路のミッシングリンク解消や4車線化、幹線道路とのダブルネットワーク化などの機能強化は、日本の国土軸を考えると、早急に進めるべき最優先事項と考えます。また今年6月に閣議決定されました、第1

最後にこれらの整備には、予算を最大限獲得する必要があります。国土強靱化特別会議員・安孫子敬美特別会議員・加賀田健司（新選出監事）中部地区（富山県）・出町

役員の一部改選

【新選出理事】

北海道・道見泰憲
北海道・白石俊哉
福島県・五十嵐誠
茨城県・木村敏文
群馬県・新井雅博
神奈川県・西山俊昭
愛知県名古屋市長・青木均
愛知県名古屋市長・日比美咲
京都府・山添藤真
岡山県・原田和充
愛媛県・武智邦典
大分県・土居昌弘
横濱市・池本裕生
特別会議員・小土井満治
特別会議員・海野正美

（敬称略）

AIルートジャッジ アクアvs京葉・館山

令和7年11月19日より実証実験開始

（以下、AIルートジャッジの実証実験を令和7年11月19日（水）から開始する。この実証実験では、木更津JCTから特定のエリア（京葉JCT、箱崎JCT、板橋JCT）までの当日午後の予測所要時間について、東京湾アクアライン（以下、アクアライン）を経由するアクアラインルートと館山自動車道（以下、館山道）・京葉道路を経由する京葉・館山ルートの所要時間を予測し、その比較結果を配信する。

【実証実験開始の経緯】房総半島から都心方面へ向かうルートとして、アクアラインと京葉・館山ルートから多くの利用者の目的地として、以下3つの経路を選定した。

【予測所要時間を提供する区間】房総から首都高管内の道路を経由して都心方向へ向かう利用者が最適なルートを選択できるように、アクアラインルートと京葉・館山ルートから多くの利用者の目的地として、以下3つの経路を選定した。

【特徴】①予測所要時間を提供する3区間から選択できる。②スライドバーで渋滞予測時間を変更できる。③2ルートの渋滞予測をどちらが早いかに目視確認できる。④2ルートの時間帯ごとの所要時間を一目で確認できる。⑤料金検案やリアルタイム渋滞情報はドラぷらおよびドラから検案して確認できる。



AIルートジャッジ (11/19から情報提供開始)

https://www.driveplaza.com/trip/area/kanto/traffic/ai-route-judge/

振

高速道路会社は先月、2005年10月1日の民営化から20年という大きな節目を迎えた。この20年間は、国民生活を支える基幹インフラ企業として広範な社会的使命をいかにつらに果たしてきた。各社はその使命達成に向けた取り組みの理解を得るべく、記者発表、会見、現場公開、記者懇談会など、多様な広報活動を積極的に展開してきた。今回、この20年間の取り組みを振り返り、広報活動の進化について検証したい。

まず、情報提供の強化と事業への理解促進の要として、社長による定例会見は多くで定着したといえる。民営化当初、会見参加が数社に留まる事例も見受けられたが、広報活動の継続と強化により、近年はテレビ局、一般紙、専門紙、Web媒体など、多様な報道機関が多数出席する場となっている。経営トップが社会に向けて自らの言葉で発信を続ける姿勢は、企業への信頼獲得に不可欠な要素であり、今後も会見はその役割を一層深めるだろう。

また、現場の公開は、事業の多角的な側面を伝える上で極めて重要である。大規模プロジェクトのフェーズ移行や道路完成時だけでなく、普段は目に触れない高度な点検・補修の現場、防災・減災に向けた取り組み、今後の不可欠な活動である。同様に、番組制作への協力、事業の詳細な紹介を可能にし、PRや理解促進に大きな効果を発揮する。

一方、台風、降雪、地震などの自然災害発生時や事故による大規模な通行止め等の有事の際の情報発信は、お客さまの行動変容を促し、影響を最小限に抑えるための道路会社の最大の責務である。平時より重大事象発生時の広報手段を確認し、各社、様々な訓練を通じて情報提供の迅速性、正確性、適切性をブラッシュアップすることに努めている。プレスリリース、WEBサイト、SNSなどを駆使した多角的な情報提供は、お客さまの安全確保と、広域的な影響の軽減のためにもその重要性を増している。

社会の期待にこたえ、安全・安心な高速道路サービスを持続的に提供していくため、情報発信は欠かせない。この20年間で培われた広報ノウハウを活かし、今後も、これまで以上に積極的な情報発信に努めていく必要がある。

広報で築く社会との絆

み、社会課題の解決に向けた実践などを公開することは、技術的な挑戦や維持管理の重要性を具体的に示す絶好の機会となる。報道機関に取り上げていただくことは、道路整備の

雪、地震などの自然災害発生時や事故による大規模な通行止め等の有事の際の情報発信は、お客さまの行動変容を促し、影響を最小限に抑えるための道路会社の最大の責務である。平時より重大事象発生時の広報手段を確認し、各社、様々な訓練を通じて情報提供の迅速性、正確性、適切性をブラッシュアップすることに努めている。プレスリリース、WEBサイト、SNSなどを駆使した多角的な情報提供は、お客さまの安全確保と、広域的な影響の軽減のためにもその重要性を増している。

社会の期待にこたえ、安全・安心な高速道路サービスを持続的に提供していくため、情報発信は欠かせない。この20年間で培われた広報ノウハウを活かし、今後も、これまで以上に積極的な情報発信に努めていく必要がある。

【「AIルートジャッジの仕組み」】これまでアクアライン、京葉道路における「AI渋滞予測」を実現していた、ドコモの「AI渋滞予測」技術とNEXCO東日本の交通工学的知見・ノウハウのかけ合わせによって出力された予測結果と、首都高速道路（株）の交通統計データに基づき、各経路における時間帯ごとの「追跡時刻和」データとの組み合わせを通じて各ルートの所要時間を予測し、その比較結果を配信する。

高速道路の通行止め・規制情報

【工事通行止め】

- ◇中央自動車道 多治見IC～小牧東IC（上下線）
11月25日（火）～27日（木）、12月1日（月）、5日（金） 各日20:00～翌6:00
- ◇中央自動車道 多治見IC、土岐JCT
12月10日（水） 20:00～翌6:00
- ◇阪神高速32号新神戸トンネル（新神戸駅出口）
11月25日（火）～11月27日（木） 各日23:00～翌5:00
- ◇新名神高速道路 甲賀土山IC～草津JCT（上下線）
12月8日（月）～12月10日（水） 各日20:00～翌6:00
12月15日（月）～12月17日（水） 各日20:00～翌6:00
- ◇国道201号 八木山バイパス 筑穂IC～穂波東IC（上下線）
12月1日（月）～12月4日（木） 各日22:00～翌5:00
- ◇国道201号 八木山バイパス 篠栗IC～穂波東IC（上下線）
12月8日（月）～12月12日（金） 各日22:00～翌5:00
- ◇九州自動車道 小倉東IC入口（下り線：熊本方面）
12月1日（月）～12月6日（土） 各日22:00～翌6:00